

## 自主宣言への期待と課題

（ふりかえり）

・カンピロバクター食中毒低減対策として目指すもの→**影響と期待**

①社会の意識向上（消費者・フードチェーン）

→社会は日本の鶏肉の衛生管理は当たり前と思っているはず

→その上で、食中毒が起きていることを改めて理解？

→鶏肉敬遠にならないか？→**農場形態・規模・新旧施設設備関わらない取組（？）**

②鶏肉汚染の低減（生産現場での衛生管理）

→現状の衛生管理と汚染度が不明？原因追及？→**定量データや分析が有効（？）**

→自主宣言業界浸透効果→**効果が高ければ衛生管理は向上（拡大）する（？）**

→しかし、**当たり前の取組開示などでは期待薄か？宣言判断基準？誰かが認証？**

## 自主宣言への期待と課題

（ふりかえり）

**自主宣言をどう活かすか？**

・自主宣言は、拡大して業界の当たり前にならないと

鶏肉の食品安全に繋がらないと考えます。拡販材料ではない。

（将来的）地鶏などにも広げられるか？

（将来的）親鳥、廃鶏などにも広げられるか？

鶏肉全体の安全性を高めることに繋がられるか？

↓

・日本食鳥協会など積極的な後押し。

（生食を誘発するのではなく）日本の鶏肉の安全性を高める為の現場努力として扱い、

**生産農場、食鳥処理場価値向上（…実際難しい→拡大と継続）**

↓

**日本の食品安全文化の醸成へ！**

# 自主宣言への期待と課題

## 生産農場の自主宣言

- ・ 肉用鶏生産農場では**健康的に効率的**に飼育するために衛生管理している
  - 食品として鶏肉由来の食中毒に対する農場として意識向上を高める
  - 現状の汚染状況の把握→**技術指導・情報提供（？）**
  - 鶏の健康だけではない安全な鶏肉の生産に繋げる（食品安全文化の醸成）
- ↓
- ・ 実際の飼育者は、衛生管理は鶏の健康の為！  
安全については飼料安全法、薬機法を守れば安全という意識！  
**食中毒に対する生産者の取組みとして自主宣言**すると意識することが大事！  
『**自主宣言＝鳥の健康と人の健康を守るための取組**』とする  
**（実際の課題は有効対策確立→農場側のメリットに繋げる）→エビデンスが必要**
- ・ **自主宣言判断基準、管理者を明確にする**

# 自主宣言への期待と課題

## 生産農場の自主宣言

- ・ **食中毒に対する生産者の取組みとして自主宣言**  
『**自主宣言＝鳥の健康と人の健康を守るための取組**』
- ・ 鶏舎内は鶏にとって大切な居場所と考え、飼料や水はもとより、新鮮な空気と快適な敷料を使用します。外部からウィルスや菌の持ち込みが無いよう、履物、衣類など気を付けて、安全な鳥の飼育に心がけ、安全な鶏肉として、認めて頂けるよう注意して飼育管理しています。（宣言としてはいいが？当たり前）
- ・ 使用水を塩素消毒し、○○ppmの濃度を毎日確認します。  
給水設備も更新（ドリンカーからニップル、カップレス採用など）し、鶏に衛生的な水を飲めるよう配慮しています。衛生的な給水管理から、安心安全な鳥の飼育へ繋げ、安全な鶏肉が食卓に届くようにしています。（証拠？）

# 自主宣言への期待と課題

## 食鳥処理場の自主宣言

- ・ 食鳥処理場はHACCPによる衛生管理指針もありこれ以上求めるのは  
 厳しいのでは？（小規模には有効かもしれないが？）
- ・ 食品工場にとって消費者志向は**当たり前**すぎる。
- ・ 定量データを元に出荷順番の取組みについては、数多くの委託農家を支えている処  
 理場ほど不利になるのでは？出荷運搬作業などの負担（協力会社負担）にも関わる。
- ・ 自主宣言農場を増やすキーパーソンとしての役割ではどうだろうか？  
 （農場への**厳しいプレッシャー**と**ならない配慮は必要**）



- ・ 定量データ等を元に生産農場と一緒に取り組む。

継続した一定菌量の農場への検査継続と取組サポートなどが有効なのは？

取組状況を農場にフィードバックするなど。

食鳥処理場は生産農場の自主宣言を応援します！！（イメージ）

# 自主宣言への期待と課題

## 食鳥処理場の自主宣言

データ等を元に生産農場と一緒に取り組む。

継続した一定菌量の農場への検査継続と取組サポート。

食鳥処理場は生産農場の自主宣言を応援します！！

・ 当処理場では食中毒菌となりうる微生物の定量的データを取り続け、  
 その傾向を農場にフィードバックすることで、農場管理人さんに安全な鶏肉の生産に  
 意識を高めて頂いています。その取組みにより多くの農場から自主宣言の理解も  
 頂いており、その効果として農場での生産性も安定し喜んでくれています。

- ・
- ・

# 自主宣言への期待と課題

期待のまとめ（カンピロバクター由来の食中毒削減）

**自主宣言をどう活かすか？**

業界価値向上・日本の食品安全文化の醸成へ！

**生産農場**

食中毒に対する生産者の取組みとして自主宣言すると意識することが大事！

『自主宣言＝鳥の健康と人の健康を守るための取組』としての意識！

**食鳥処理場**

・定量データ等を元に生産農場と一緒に取り組む。

継続した一定菌量の農場への検査継続と取組サポート

取組状況を農場にフィードバック

食鳥処理場は生産農場の自主宣言を応援します！！

肉用鶏の自主宣言＜食鳥の安全＜食肉の安全＜食品の安全へ！

まずは鶏肉由来の食中毒の割合を減らす目標を共有！